

米奥小だより

令和7年7月9日（水）

No.16

米奥小学校 校長 北添 忠

06月28日（土）

この日は、今年度3回目の参観日です。4月は丸太ごいの設置に合わせて、5月は丸太ごいの撤去に合わせて、そして今回は夏の行事に向けての保護者会や救急法などと合わせての参観日です。

【参観授業】

2校時は参観授業です。1.2年生の学級では音楽の授業が行われ



ていました。授業が始まって10分ほどの時、4家庭中2家庭の保護者がいた中、ある児童が「親がまだ来ん！なんで～」などと言いながら学習に気持ちが向かない様子が見られました。ある保護者が「もうすぐ来るよ！」と声をかけていたのが印象的でした。

授業でタブレットPCを使う機会も増えてきました。4月の参観日では5.6年学級がプログラミング学習をしました。今回、5.6年学級は社会でしたが、5年生が「米の育て方」についてタブレットPCで調

べ、まとめていました。

【救急法】

3校時は救急法の実習です。水泳の授業は6月第2週に始まりました。7月19日にはアユ釣りカヌー教室が予定されています。川などで水遊びをする機会が増える夏、万が一の事態にそなえて、救急法の実習を親子で行いました。毎年この時期に行っているのも、多くの児童、保護者は初めてではありません。それでも毎年行うのは、少しでも救命率を上げるためであり、また、水辺での遊びは楽しいですが、危険と隣り合わせであることを知る目的もあります。実習は親と子に分かれて行いました。親のグループは心臓マッサージの実習のあと、質問タイムに入りました。AEDの使い方に関して子どもに使う場合の注意





点や、止血と心臓マッサージについての優先順位など、たくさんの質問が出され、清流消防署の隊員が丁寧に回答していました。児童は順番に AED の使い方と心臓マッサージのやり方を実際に体験していました。

【4校時】

4校時の前半は、6年生による修学旅行のまとめの発表です。5月に4校合同での修学旅行を実施し、広島宮島の宮島、平和公園・原爆資料館、香川の遺跡とレオマワールドへ行ってきました。その時、それぞれの場所で感じたことなどを6年生3人が発表しました。

最近の学校教育において、先生や友達の考えを聞くこと、自分の思いや考えを発表することが重視されるようになってきま



ました。米奥小学校でもいろいろな機会をとらえて、発表などを行っています。

4校時の後半、保護者は図工室で保護者会、児童は図書室で七夕の短冊づくりを行いました。

